

ブラッセル日本人学校での取組

長門市立仙崎中学校 教諭 赤木 克哉
 派遣先在外教育施設名 ブラッセル日本人学校

1 現地校との交流

(1) ヨーロピアンスクール

ヨーロピアンスクールにおいて年に2回開催されるフェスティバル（日本の学校で言うところの文化祭）のうち、5月の初めに開かれるフェスティバルに招待されて交流を図っています。盛大で工夫を凝らしたオープニングセレモニーの中でわが校も発表する機会を得ました。ソーラン節を披露したが、大変な盛況ぶりでした。



校長のあいさつを同時通訳する中学生（左）



ソーラン節を披露する様子（その他）



また、午後からは日本の文化に親しんでもらおうということで「書道ブース」を開設して、多くの中高校生やその保護者が書道体験に訪れる中、本校の中学生が英語やフランス語を駆使して、時には身振り手振りでコミュニケーションをとりながら丁寧に教えてあげていました。



(2) モルロンウェイ校

本校から、車で1時間～1時間半くらい離れているところにあるモルロンウェイ校と、毎年、隔年で訪問し合いながら交流しています。今年は、モルロンウェイ校が英語の授業とコミュニケーションを目的に本校を訪問しました。名札交換での自己紹介

等を終えた後に、グループに分かれて活動しました。「日本の文化に触れる」と題して、箏や和太鼓の体験、剣道の体験、東日本大震災の復興支援ということで応援の鯉のぼりプロジェクトに参加しようと鯉のぼりの絵付けなどを体験していただきました。昨年は本校の生徒が合唱を披露したり平和学習についてプレゼンテーションしたり、相手校が用意したアクティビティーと一緒に楽しんだりしました。

2 修学旅行

中学3年生が毎年5月の中旬にドイツのベルリン、ポツダムへの修学旅行を実施します。第二次世界大戦や東西冷戦の爪痕を探る旅で、日本の中学生と同じように、グループでの自主研修も行います。ただし、海外で危険も伴う可能性があることから1グループに1人の教員や添乗員が同伴します。(もちろん、大人は指示もせず基本的にあとをついていだけ)



3 サマースクール

中学1, 2年生は毎年5月の後半にサマースクール(日本で言うところの宿泊訓練)を実施します。2泊3日でキャンプファイヤー、カヤック体験、アーチェリー体験などなど、日本と比べるとかなり多種にわたるアクティビティーを経験することができます。

部活動もなく、厳しい状況に追い込まれる経験の少ない海外の日本人学校の生徒にとっては貴重な体験となり、中学生としての責任・忍耐や他者理解など様々な面で成長させてくれる機会になります。

